

〈技術トピックス〉

環境配慮型ファイアタイトカバ (FTC)

1984年に東京世田谷電話局のとう道で起きたケーブル火災は、関係者だけでなく、社会的にも大きな衝撃として受け取られ、とう道のケーブル火災への防止対策が講じられることになった。とう道には、当時、非難燃ケーブルが使用されていたが、ケーブル火災の対策として、既設ケーブルには、新規に開発された不燃性のファイア・タイト・カバ (FTC) でケーブルを覆う処置が施され、新設されるとう道内のケーブルには、難燃ケーブルが用いられることになった。

従来のFTCは、耐火層にガラスクロス、伝熱層にアルミニウム、断熱層にセラミックウールで構成されているが、敷設後20年以上経過し、一部の破損している箇所から繊維状の内容物が露出飛散する状況が確認されている。

この飛散物によりとう道内の作業環境の悪化が懸念されるようになってきている。

こうした状況を改善するため、このたび当社では、FTCの構成材料を見直して、何かの原因で破損しても飛散物を生じさせない環境配慮型FTCを開発した(図1)。環境配慮型FTCは、耐火層に難燃シリコンゴムをコートした綿布、伝熱層にアルミニウム、断熱層に難燃フェルトで構成されており、燃焼試験等でも良好な特性が確認されている(図2)。

本製品によるとう道内の環境改善への効果が期待されている。

(光ケーブルシステム開発センター 光機器開発部 古原)

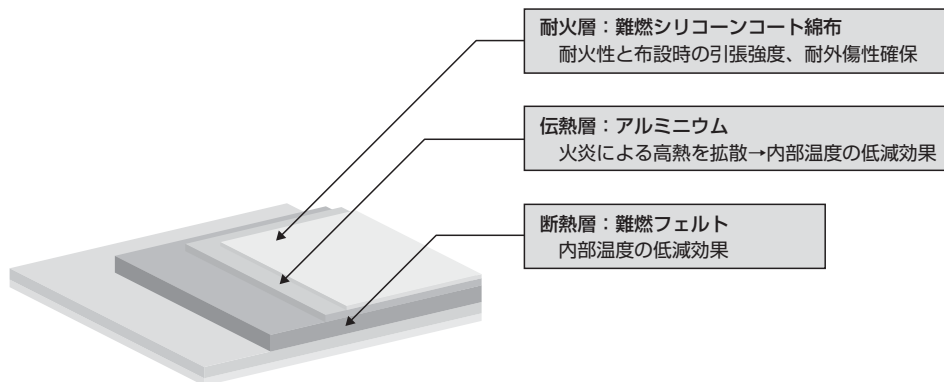


図1 環境配慮型 FTC 構造図



図2 燃焼試験

[お問い合わせ]

光ファイバ・ケーブルシステム事業部
通信技術部

TEL : 03-5606-1201 FAX : 03-5606-1535

E-mail : telcon@fujikura.co.jp